

未来を拓く人を育む教育推進事業

—No.60 寄居町—

【事業の目的】

平成 29 年度から始まる「第 6 次寄居町総合振興計画」の基本目標の一つに『夢と創造力にあふれ 未来を拓く人を育むまち』が掲げられています。この目標を達成するためには、学校教育の充実が欠かせません。学校教育では、「真の学び力を身につけた 未来を拓く人づくり」を基本理念として様々な事業に取り組んでいます。

【事業の内容】

- 【拡充】放課後サポートスクール事業
民間の学習塾と連携し、中学 3 年生を対象にした「より・E 土曜塾」、放課後学習サポーターによる小学校 2、3 年生を対象にした「より・E 放課後塾」に加え、新中学 3 年生を対象に「より・E 春塾」を実施します。
- 【拡充】英語教育推進事業
小学校には 2 校に 1 名、中学校には 1 校 1 名の A L T を配置しています。英検受験料の公費負担に加え、中学 2、3 年生を対象にした英検対策講座を開講します。
- 【新規】デジタル教科書の導入
デジタル教科書を授業に活用し、主体的・対話的で、深い学びを実現するよう努めます。
- 【新規】Hyper-QU テストの実施
よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート式テストを実施し、不登校やいじめの防止、あたたかな人間関係づくりに努めます。

【事業年度】

平成 28 年度～

【予算額(千円)】

40,949 千円（平成 29 年度）

【財源】

一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

良好な子育て環境を求めるファミリー層に、寄居町が「選ばれるまち」になるため、寄居町まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点施策に教育の充実を位置付け、平成 28 年度より事業を開始しました。

さらに、平成 29 年度から始まる第 6 次寄居町総合振興計画の中でも教育の充実に重点を置き、事業を拡大しました。

【事業の PR ポイント・事業実績・成果・今後の展開】

○ 放課後サポートスクール事業・英語教育推進事業

「より・E 放課後塾」は、平成 28 年度は、9 月からの実施で年間 20 回程度実施し、年度末実施の検証テストでは、各校平均正答率 80% から 90% という成果を上げることができました。平成 29 年度は、5 月から実施し、回数を 30 回程度に増やします。

さらに、4 月の土日を活用し 3 回実施の「より・E 春塾」、受験料公費負担による英検実施の前に英検対策講座を加える等事業を拡充し、学力向上を図ります。

○ デジタル教科書の導入

平成 29 年度は、算数・数学、社会科においてデジタル教科書を導入します。教員にとっては、デジタルコンテンツを活用することで教材研究の幅が広がり、多様な授業プランを作成することができます。児童生徒にとっては、デジタル化された多用な資料を活用することによって、話し合いが活発になったり、思考が深まったりする効果が期待できます。

○ Hyper-QU テストの実施

Hyper-QU テストとは、よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケートです。Hyper-QU テストを実施し、その結果を分析することによって教師が学級経営を改善していく視点を持つことができたり、一人一人の子供たちへの支援の方針、方法を工夫したりしやすくなります。学校、学級が居心地の良い、自分を高める場であれば、いじめが起きにくい風土になり、それは学力向上を根底から支えるものです。

〔 連絡先 〕

教育指導課

048（581）2121（内線521）